

傾斜天井と土間スペースが生み出す 平屋家屋のような空間



Before

After



■大屋根の家

所在地 福岡県福岡市
 主要用途 専用住宅
 家族構成 夫婦
 設計・施工 アポロ計画
 リノベエステイト事業部
 構造・構法・規模 鉄骨鉄筋コンクリート造
 集合住宅1階/9階建
 延床面積 105.15㎡
 竣工 2012年12月

マンションにも一戸建てのようなゆとりとぬくもりを。施主が抱く戸建て住宅への憧憬の答えとして導き出したのが、専有面積約一〇五平方メートルのマンションの一階部分につくりあげた大屋根こと木張りの傾斜天井だ。フラットになりがちなマンションの天井にアクセントをつけ、日本の平屋家屋がもつ落ち着きを醸し出している。

広いLDKの窓辺にはインナーテラスのような土間スペースを確保。縁側を思わせる空間は天井のある魅力をさらに際立たせ、時には書斎となったり、家族団らんの間となったり、新しいLDKの楽しみ方も提案している。さらに奥へ進むと広がるのが隠れ家のような土間の家。多様な趣味をもつ家主が床の汚れも気にせず遊べる自由な空間である。

もうひとつの特徴が、各部屋に個性をもたせた多様な種類の仕上げ材。LDKと土間の部屋を仕切る白いレンガタイルは、マンハッタンのロフトをイメージ。LDKの壁には、コミュニケーションにも一役かってくれる黒板塗料を使っている。さらに玄関から見通せる大きな木製の格子戸は開放感たっぷり。日々の暮らしへの期待感を高めてくれる存在だ。

(松山真介)